



緑風だより



発行 障害者支援施設 さがみ緑風園
〒252-0328 相模原市南区麻溝台2-4-18
Tel.042-766-2255
URL www.pref.kanagawa.jp/cnt/f488/
発行者 長澤 忠行

『地域で暮らす』～重度障がい者グループホームへ～

7ホーム 渋谷功太

Hさんは平成25年に受傷され、「遷延性(せんえんせい)意識障害」との診断を受け、令和元年に当園に入所しました。経管栄養や痰の吸引といった医療的ケアが必要なHさんが地域で生活するにはどのような方法があるか、色々な可能性をご家族と相談しながら考えましたが、Hさんの障害を考えたときに、なかなか良い考えは思いつきませんでした。

そんな時、NHKのハートネットTVで『重度障がい者グループホーム:タンポポの花』について特集が組まれていました。横浜市にある遷延性意識障害の方を受け入れているグループホームという、この辺りの地域では珍しいグループホームです。年齢も40代とまだ若いHさんにとっては、療養型の病院やケアホスピス等よりも、もっと刺激のある生活環境の方が適しているのではないかと考えていたので、このような場所に出会えたのは本当に運がよかったと思います。

令和5年10月に初めて『タンポポの花』に電話をした時には、すでに満床で空きが出る予定はないとのことでした。その後もあきらめきれず、こちらから根気よくコンタクトを取り続けたところ、約1年後、幸運にも施設に空きができたことがわかりました。早速ご家族とともに施設見学を行う一方で、利用料金や地域移行にあたって活用できる手当や補助金等について調べ、ご家族に情報提供を行いました。当初、ご家族はグループホームへの移行に不安を感じておられる様子でしたが、『タンポポの花』職員の方の丁寧な対応に、そうした不安も徐々に払拭されたようでした。そして、約半年後の令和7年4月16日に、Hさんはめでたく居所を移すこととなりました。

一か月後、Hさんの様子伺いに『タンポポの花』を訪問した際には、表情も良くとても元気そうでした。部屋の様子も引っ越し当初と違い、生活しやすいようにレイアウトされていました。『タンポポの花』の職員さんからは、Hさんの細かな支援方法などの質問があり、積極的に本人に関わってくださっている様子が伺えました。またこのグループホームでは職員がマンツーマンで本の読み聞かせをしたり、複数職員で車いす乗降や排泄介助を行うなど、一人ひとりに手厚い支援がされていると感じました。

医療的ケアが必要な方の地域生活移行は、現状では容易なことではありませんが、可能性を信じて、あきらめずに探す、見つけたら根気よくアプローチすることで、よりご本人に適した生活の場への移行につながりました。



令和7年度 虐待防止研修を行いました

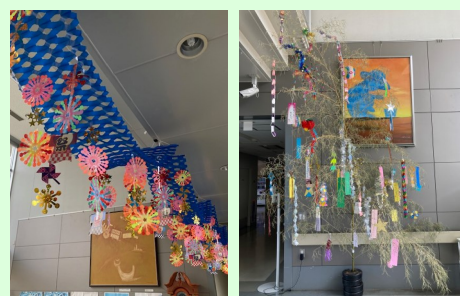
7月から8月の間、数回にわたって「虐待防止研修」を行い、生活支援部の全職員が受講しました。具体的な支援場面を想定した事例をもとに、それぞれが個人ワークを行ったあとグループワークで課題を共有し、意見交換をしました。セクションを超えて、活発な話し合いができ、職員ひとりひとりが適切な支援、虐待防止について考える機会となりました。今後の支援に活かしてまいります！



編集後記

地域支援課では、季節ごとに園内の飾りつけを行っています。7月は、七夕飾り、8月は正面玄関内に花火の飾りつけをしました。

暦の上では秋ですが、厳しい暑さがもう少し続きそうです。皆様どうかお体お気をつけてお過ごしください。
地域支援課 進



社会参加への取り組み～令和7年参議院議員選挙(施設内不在者投票)～



生活第二課長 高木英史

7月14日(月)に、園内で、不在者投票制度による参議院議員選挙の不在者投票を行いました。当園は、入所者の皆さんの投票する権利、政治に参加する権利を保障するため、県の選挙管理委員会から、不在者投票指定施設として指定を受けています。今回、施設内での不在者投票を行うにあたっては、事前に入所者全員に投票の意思を確認し、投票希望者に、候補者の顔写真入りの一覧を見ていただくなどの準備をしました。投票当日は、投票場所とした地域交流室や、居室で投票を行う方は居室において秘密保持を徹底するとともに、投票に干渉するなどの不正がないよう、厳格なルールのもとに実施しました。投票の際は、ご自身のペースでゆっくり候補者を選んでいただくよう配慮し、また、自ら投票用紙に記載することができない方は、投票時に入所者の意思を丁寧に聞き取り、職員が代筆や投票の補助を行いました。

今後は、入所者の皆様のご意見を伺いながら、園内での投票のみならず、投票日に、他の住民と一緒に投票所で投票いただくことも考えていきたいと思ひます。

令和7年
参議院議員通常選挙
(施設内不在者投票所)



夏の園内行事を楽しみました

8ホーム主任 染谷圭子



花火大会



8月8日の夕食後に花火大会を開催しました。前回の花火大会は記憶に古く、花火ができると聞いて利用者様は大喜び。町田の花火店まで一緒に買い出しに行きました。

当日は、職員が花火に火を着け利用者様に持たせていただくよう手助けしました。1つ終わると次をすぐ着火したいと言って大はしゃぎする方、手で花火を持っていない方も目を見開いて珍しい表情をしていたりと、各々いろいろな顔を見せてくださいました。花火の着火に不慣れな若手職員がおり、恐る恐る着火する様子も利用者様には面白く映ったようでした。



ウクレレ演奏・盆踊り



夏といえば「盆踊りだよね」との利用者様からのリクエストにお答えし、8月10日、盆踊り大会を開催しました。盆踊りだけですと何かちょっと物足りない…そんな中、新しいボランティア団体の「ウクレマハロさん」が来てくださることになりました。

当日、ウクレマハロさんの演奏は1時間というロングステージ。迫力のある演奏に、涙ぐみ笑顔で盛り上がる利用者の様子が伺えました。ウクレ演奏のあと、熱の冷めぬまま盆踊りを楽しみました。会の終了後、浴衣を脱ぎながら「またウクレさん来るといいね」と、早くも次回の演奏会を期待する声がきかれました。